

福島第一原子力発電所 共用プールにある使用済燃料の 輸送貯蔵兼用キャスク装填作業時における不具合について

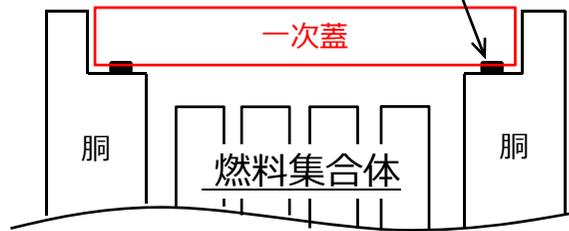
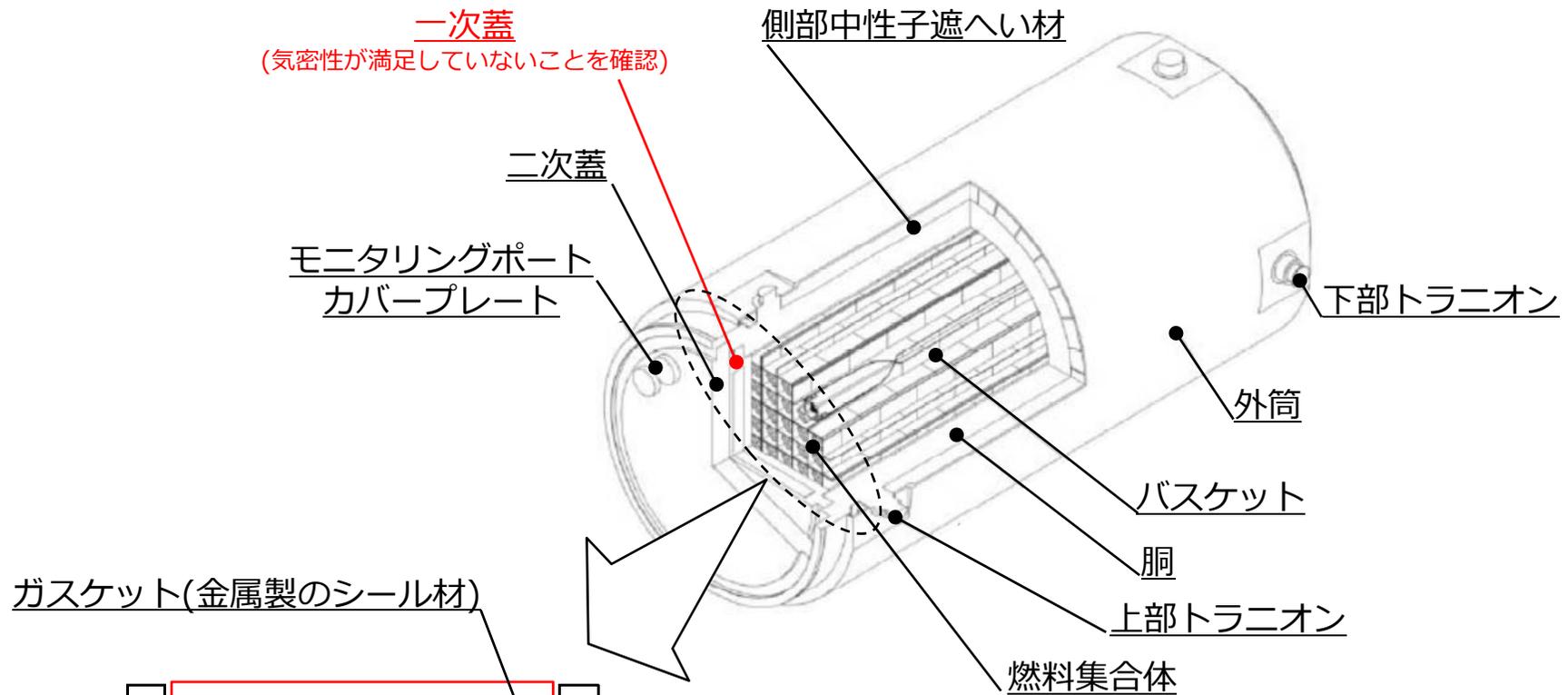
< 参 考 資 料 >
2022年5月30日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 6号機使用済燃料プールに保管している燃料（1,456体）については、2022年中頃から取り出し、取り出した燃料は共用プールにおいて保管・管理する計画としています。また、共用プールにおいては、6号機使用済燃料プールから取り出した燃料を保管するスペースを確保するため、現在保管している使用済燃料を、キャスク仮保管設備へ移送し、保管・管理する計画としています。
- 使用済燃料の移送等にあたっては、輸送貯蔵兼用キャスクを使用することとしており、2023年度までに搬入予定の22基のうち4基について、2022年3月16日、海上輸送により発電所構内へ搬入しました。
- 5月11日から、共用プールに保管している使用済燃料の当該キャスクへの装填作業を開始する予定です。

(以上、5月9日までにお知らせ済み)

- 5月11,12日、共用プールに保管している使用済燃料（69体）を当該キャスク（1基）へ装填後、5月22～27日にかけて、共用プール（気中）において蓋の気密性確認を行ったところ、気密性が満足していないことを確認しました。
- 当該キャスクについては、納品前に実施した気密性確認において問題がないことを確認していますが、今後、当該キャスクへ装填した使用済燃料を共用プール（水中）に戻し、空の状態では気中に引き上げ、原因を調査する予定です。
- なお、当該キャスクの気密性確認にあたっては、作業エリアの空間線量率ならびにダスト濃度の測定を行っており、指示値に有意な変動がないことを確認しています。引き続き、安全を最優先に慎重に作業を進めてまいります。

【参考】 輸送貯蔵兼用カスクのイメージ図

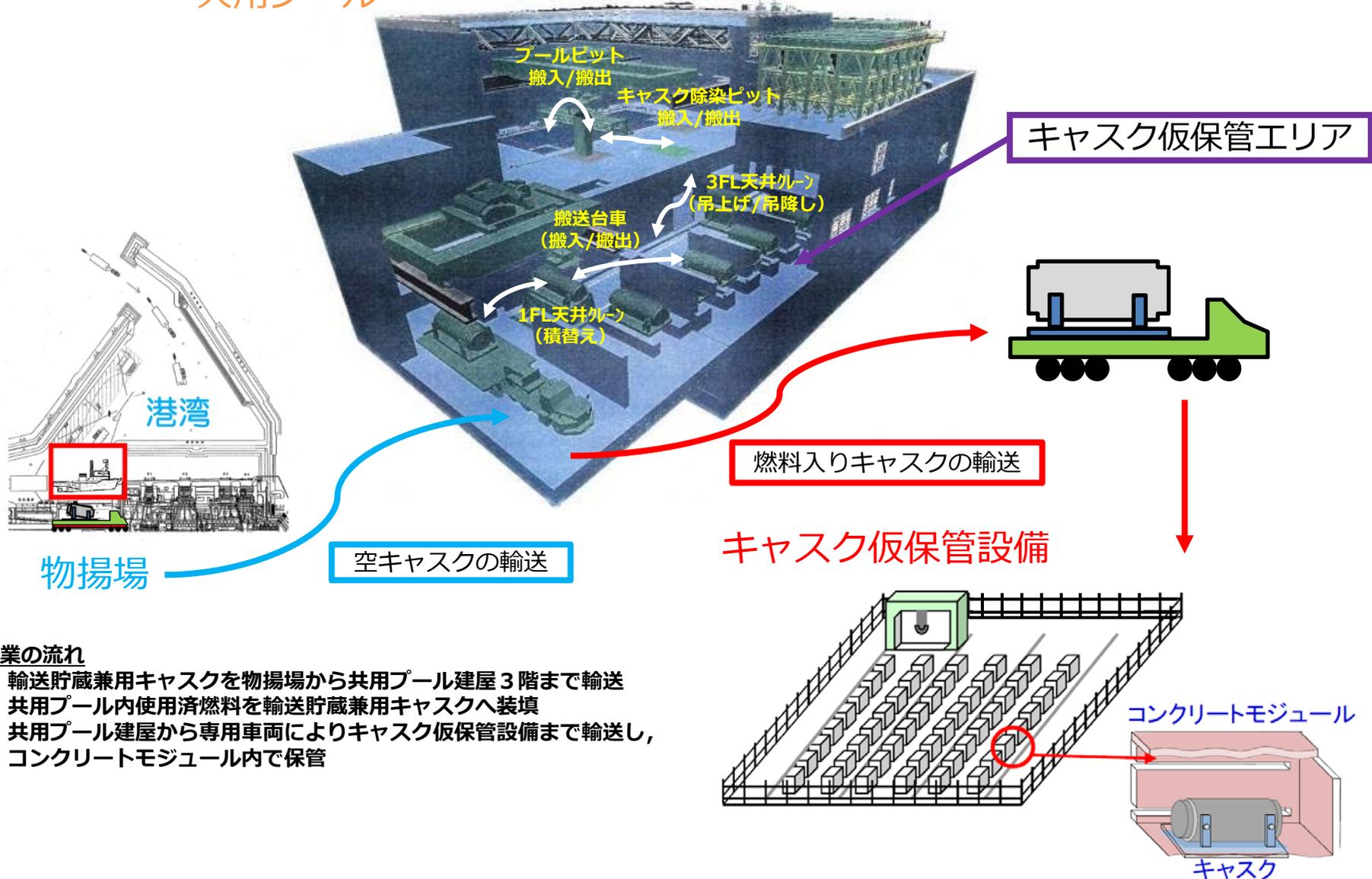


断面イメージ図

全長	約5.3m
外径	約2.5m
重量	約119t (燃料含)
収納数	69体

【参考】 共用プールからの使用済燃料構内輸送作業の流れについて

共用プール



作業の流れ

1. 輸送貯蔵兼用カスクを物揚場から共用プール建屋3階まで輸送
2. 共用プール内使用済燃料を輸送貯蔵兼用カスクへ装填
3. 共用プール建屋から専用車両によりカスク仮保管設備まで輸送し、コンクリートモジュール内で保管